

大田区立龍子記念館 川端龍子生誕 140 年特別展

「川合玉堂と川端龍子」 2025 年 10 月 11 日(土)～ 11 月 9 日(日)

October 11 - November 9, 2025 | Ryushi Memorial Museum
Special Exhibition Commemorating the 140th Anniversary of Kawabata Ryushi's Birth "Kawai Gyokudo and Kawabata Ryushi Memorial Museum was established in 1963 by Japanese-style painting artist Kawabata Ryushi (1885–1966), based on his own vision. To mark the 140th anniversary of his birth, the museum is presenting a special exhibition focusing on Ryushi's connection with fellow artist Kawai Gyokudo (1873–1957), who was renowned for his portrayals of nostalgic landscapes and everyday life in traditional Japan.

ギャラリートークの開催
開催日：10月12日(日)、10月19日(日)、11月2日(日)
各日13:00～
学芸員が出品作について解説します(40分程度)



龍子公園のご案内時刻
Ryushi Garden Guided Tour
10:00、11:00、14:00
上記の時間に開門します(30分間)
見学ご希望の方は受付へお越しください

展示作品

作者	作品名	制作年、サイズ 縦×横 cm 技法・材質・形状 所蔵		
① 川合玉堂	「紅白梅」	1919 年 各 170.0×372.0 紙本金地彩色 屏風・六曲一双 玉堂美術館	⑩ 川合玉堂	「夏雨五位鷺」 1899 年 114.0×41.5 絹本彩色・軸装 玉堂美術館
② 川合玉堂	「山村春色」	1913 年頃 107.0×237.0 絹本彩色・屏風・六曲一隻 パラミタミュージアム	⑪ 川合玉堂	「高嶺残雪」 1907 年頃 120.8×50.1 絹本彩色・額装 パラミタミュージアム
③ 川合玉堂	「稻田の鶴」	1928 年 各 165.5×170.0 絹本金地彩色・屏風・二曲一双 公益財団法人北野美術館	⑬ 川合玉堂	「柘榴白鷺」 1924 年 各 123.0×42.0 絹本彩色・軸装 玉堂美術館
④ 川合玉堂	「鶺鴒」	1896 年 111.5×43.0 絹本彩色・軸装 玉堂美術館	⑭ 川合玉堂	「琵琶黄鳥」 1924 年 各 123.0×42.0 絹本彩色・軸装 玉堂美術館
⑤ 川合玉堂	「鶺鴒」	1951 年 54.0×72.0 絹本彩色・軸装 水野美術館	⑮ 川合玉堂	「春の宵」 1938 年 各 132.3×32.5 絹本淡彩・軸装・対幅 玉堂美術館
⑥ 川合玉堂	「鶺鴒」	1956 年 60.5×75.0 紙本彩色・額装 玉堂美術館	第 2 章 激動の時代における玉堂の制作	
⑦ 川合玉堂	「鶺鴒」	1944 年頃 48.5×65.0 紙本彩色・額装 パラミタミュージアム	⑯ 川合玉堂	「彩雨」 1940 年 88.0×117.2 絹本彩色・軸装 東京国立近代美術館
⑧ 川端龍子	「海鶺鴒」	1963 年 245.4×727.2 紙本彩色・額装六枚一面 大田区立龍子記念館	⑰ 川合玉堂	「紀元節」 1944 年 69.3×86.3 絹本彩色・軸装 玉堂美術館
第 1 章 修学時代から玉堂芸術の確立まで			⑱ 川合玉堂	「荒海」 1944 年 85.8×117.6 絹本彩色・軸装 山種美術館
⑨ 川合玉堂	「義士討入之図」	1890 年 115.5×44.4 紙本彩色・軸装 玉堂美術館	⑲ 川合玉堂	「山驛の春」 1945 年 46.0×58.0 絹本彩色・軸装 玉堂美術館
			⑳ 川合玉堂	「水声鳥語」 1951 年 45.0×57.5 絹本彩色・軸装 玉堂美術館

大田区立龍子記念館 Ryushi Memorial Museum

川端龍子生誕 140 年特別展「川合玉堂と川端龍子」 2025 年 10 月 11 日（土）～ 11 月 9 日（火）
Special Exhibition Commemorating the 140th Anniversary of Kawabata Ryushi's Birth "Kawai Gyokudo and Kawabata Ryushi"

②① 川合玉堂 「鮎釣」	1946 年 55.0×72.5 絹本彩色・軸装 個人蔵	第 3 回松竹梅展出品作	④④ 玉堂、龍子、大観 書合作「松竹梅」	1957 年 83.2×58.0 紙本墨書・軸装
②② 川合玉堂 「時雨」	1953 年頃 43.0×57.0 絹本彩色・額装 パラミタミュージアム		④⑤ 川合玉堂 「若松」	1957 年 47.3×59.5 紙本彩色・軸装
②③ 川合玉堂 「雪国」	1945 年頃 41.2×57.0 絹本彩色・額装 パラミタミュージアム		④⑥ 川端龍子 「昔噺」	1957 年 56.8×71.6 絹本彩色・軸装
第 3 章 奥多摩での暮らし 円熟の境地へ			④⑦ 横山大観 「紅梅」	1957 年 53.3×71.8 絹本彩色・軸装 いずれもパラミタミュージアム
②④ 川合玉堂 「春光」	1948 年 57.5×71.5 絹本彩色・軸装 個人蔵	小品・画賛・関連資料		
②⑤ 川合玉堂 「夏川」	1953 年 62.0×90.5 紙本彩色・軸装 個人蔵		④⑧ 川合玉堂 「富嶽」	1952 年 26.6×23.4 紙本彩色・軸装 玉堂美術館
②⑥ 川合玉堂 「五月晴」	1947 年 55.0×72.0 絹本彩色・額装 青梅信用金庫		④⑨ 川合玉堂 「岩うちわ」	1953 年 24.6×22.2 紙本彩色・額装 玉堂美術館
②⑦ 川合玉堂 「小春」	1953 年 66.8×89.5 紙本彩色・額装 青梅信用金庫		⑤① 川合玉堂 「猫の恋」	1955 年頃 28.8×41.5 紙本彩色・軸装 玉堂美術館
②⑧ 川合玉堂 「河畔梅家」	1951 年 50.5×71.7 絹本彩色・額装 青梅信用金庫		⑤② 川合玉堂 「盆踊」	不詳 29.0×42.7 紙本彩色・軸装 玉堂美術館
②⑨ 川端龍子 「御来迎」	1957 年 243.6×723.8 紙本彩色・額装六枚一面 大田区立龍子記念館		⑤③ 川合玉堂 「短冊十二ヶ月揃」	不詳 24.4×21.7 紙本彩色・額装 玉堂美術館
③①～③③ 川合玉堂 「水四題」 飛燕・河鹿・鶺鴒・鷗鷺	1953 年 各 48.0×59.2 紙本彩色・軸装 個人蔵		⑤④ 川端龍子 「菊三茎」	1910 年頃 各 36.0×7.3 絹本彩色・短冊・額四面 玉堂美術館
③④ 川合玉堂 「雨後」	1957 年 66.6×81.0 紙本彩色・額装 玉堂美術館		⑤⑤ 川合玉堂 「佳日」	不詳 52.9×71.6 絹本着色・額装 青梅信用金庫
③⑤ 川合玉堂 「わがあゆみ」	1952 年頃 34.4×45.2 紙本彩色・軸装 玉堂美術館		⑤⑥ 川合玉堂 「古稀の坂」	1940 年 各 27.0 紙本彩色・扇子 玉堂美術館
第 3 回雪月花展出品作			⑤⑦ 川合玉堂 「自画像」	1942 年頃 14.2×35.8 紙本彩色・扇面・額装 玉堂美術館
③⑥ 大観、玉堂、龍子 書合作「雪月花」	1954 年 85.3×59.0 紙本墨書・軸装		⑤⑧ 川端龍子 「玉堂先生を悼む」	1953 年 21.6×32.1 紙本水墨・額装 玉堂美術館
③⑦ 横山大観 「花吹雪」	1954 年 55.4×72.4 絹本彩色・軸装		⑤⑨ 製作：石橋幹一郎 監修：プリヂストン美術館映画委員会 『川合玉堂』（『美術家シリーズ』第 2 巻）1953 年 10 分 56 秒 「プリヂストン美術館美術映画シリーズより」 石橋財団アーティゾン美術館	1957 年 32.4×5.7 紙本墨書・短冊・額装 玉堂美術館
③⑧ 川合玉堂 「月天心」	1954 年 55.7×72.5 絹本彩色・軸装		⑥① 製作：石橋幹一郎 監修：プリヂストン美術館映画委員会 『美術家訪問 第 1 集／伊東深水・川島理一郎・斎藤与里・高村豊周・熊谷守一・平櫛田中・川端龍子』（川端龍子の部分のみ）1954 年 2 分 10 秒 「プリヂストン美術館美術映画シリーズより」 石橋財団アーティゾン美術館	
③⑨ 川端龍子 「若鮎」	1954 年 57.8×72.5 絹本彩色・軸装 いずれもパラミタミュージアム		主催：（公財）大田区文化振興協会、日本経済新聞社	
第 2 回松竹梅展出品作			【関連イベント】 ギャラリートーク：10月12日、19日、11月 2 日 特別展講演会：10月18日 13:30～15:00 会場 大田文化の森	
④① 龍子、玉堂、大観 書合作「松竹梅」	1956 年 79.5×60.0 紙本墨書・軸装			
④② 川端龍子 「唐崎夜雨」	1956 年 55.7×71.6 絹本彩色・軸装			
④③ 横山大観 「竹外一枝」	1956 年 55.7×71.6 絹本彩色・軸装			
④④ 川合玉堂 「野梅」	1956 年 55.7×71.6 絹本彩色・軸装 いずれも水野美術館			

○「東京文化財ウィーク2025」特別公開事業

10月25日（土）、26日（日）、11月1日（土）～3日（月・祝） 各日10:00～15:00
龍子公園を開放し、園内を散策しながら国の登録有形文化財に指定された旧川端龍子邸、画室等を外周からご覧いただけます。

○次回展予告 名作展「源流へのまなざし モティーフで見る川端龍子」

2025年12月6日（土）～2026年3月8日（日）
日本画家・川端龍子の作品を「古典的モティーフ」、「現実にあるモデル」という視点から紹介。古典の名作を画中に描き、龍子独自の表現を加えた《虎の間》（1947年）や、ゆったりと休む孔雀明王を描いた《やすらい》（1958年）などをご覧いただけます。